

七

七十一
津波や葎あそびの面も

佳夕

明あつたるる東風の海系

名集舎

春は不盡もあはれ人の涙ぬらん

五蓬

三

春散らうらうらと空の初磯

滄波

うたふ旭光の浮る

為貞

蒲菰漕舟如さう雲乃風も

寒舎

三

神風やいそ海老あし初磯

うつあや

かき美を満く法園の春

又蓬

雲津達をれ如河のよ白雲の

佳夕

肆

幾夜を成枝のほく初磯

為貞

神川は言もあはれあそび

かき美

舟は乃浪花のちのくふ初磯

滄波

伍

又ひらつた初磯のよあぬ九の春

五蓬

いづれや雀り又とあ破魔弓

滄波

雲は色を海邊いのちのあそび

かき美

甲子れ

